

令和6年第6回
上小阿仁村議会定例会

会 議 録

令和6年12月10日（開会）

令和6年12月12日（閉会）

(「議長」と長井議員が挙手)

○議長(伊藤秀明) 以上で、大城戸議員の質問を終わります。

○議長(伊藤秀明) ここで、長井議員からの発言がありますが。

緊急質問であれば、ちょっと議長会に聞く時間がないので議長判断だと思えますので、そこを1点、長井議員に確認したいと思います。

緊急質問でよろしいですか。

○4番(長井直人) はい、議長。

○議長(伊藤秀明) はい、4番、長井議員。

○4番(長井直人) 大城戸議員の一般質問、3番、村営アパートの建設についての件で、大城戸議員の質問の中での、村営アパートの建設についての関連質問になりますので、もし、お時間が許されるようでしたら質問の機会を、2点ほど質問させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。

○議長(伊藤秀明) それは、緊急的な質問になりますか。

○4番(長井直人) はい。

○議長(伊藤秀明) 4番、長井議員。

○4番(長井直人) 建築の工期の関係とも関連するかと思いますので、多分議員の皆さんにも知っておいていただきたいことだと思いますので。

常任委員会等で触れる機会があれば別ですが、関連予算等はないので、そういった時間は無いかと思えますので、一般質問でせつかく出たので、できれば、ここで、一緒に質問させていただければと思いますが、いかがでしょうか。

○議長(伊藤秀明) 自分も緊急質問はしたことがありますけれども、今回、長井議員については、質問時間を90分も使っておりますので2回目となります。が、もし議員の皆さんが「それでもいい」となれば、再質問といいますか、させたいと思えますが。

賛成の議員は、挙手をお願いします。

(「挙手多数」)

○議長(伊藤秀明) はい、挙手多数であります。

それで、議長判断として、延々とはできませんので、一答一問式で、一問だけ、お許ししますので、村長に対して質問してください。

○4番(長井直人) 議長。

○議長(伊藤秀明) はい、長井議員。

○4番(長井直人) この場でよろしいですか。

○議長(伊藤秀明) はい。

○4番(長井直人) それでは、お時間をいただきまして、ありがとうございます。関連で質問させていただきます。

私も反対議員でありましたので、大城戸議員の気持ちは、よく分かります。

そういった中で、「決まってしまったことに対して、このように質問しても」っていう思いもあろうかと思いますが、これに関しては、その経緯を村民に知らせるいい機会として、一般質問を利用する分には、よろしいのではないかと、いうふうに拝察するところです。それについて、私も、現在進行形の事業ではありますが、関連質問をさせていただきます。時間をいただきましてありがとうございます。

まず、1点目。この工事、解体建築工事として、発注の請負をされているかと思えます。であれば、本来、公共事業の場合は、請負をして工事を行う前に、その工事が何であるか、「工事名称」「責任者は誰か」「工期はいつまでか」というような、そういった掲示板を、本来建てるべきもので、今回の工事にあたって、その掲示板が、12月に入ってから掲示されたのではないかと、いうふうに認識しております。そういった状態がなぜ起こったか、その所、一つ説明をいただきたいというふうなのが1点。

あともう1点。このアパートは、「村産の木材を使用して建てたい」という、村長の強い思いがありまして、議員からも「木材じゃないとだめなのか」と。「金額を安くするために、鉄鋼等、考えられないか」というような意見もありました。しかしながら、「木材じゃなくても鉄骨でも、それほど予算的には変わらない」というような説明もありました。

そうした中で、村産の木材を使うにあたって、村の木を事前に数量を確保してある、ということでお伺いしました。

で、そこで、現在、建築中で、かなりこの工事は進んでおります。しかしながら、情報では、「建築に必要な木材が足りなくて、他の事業所に発注をかけてる」という情報があります。で、それに関して、やはり、建築木材ですので、「準備してくれ」と言われて、おいそれと準備できる訳じゃないですね。製品を加工して、乾燥させて納品しなければならない。少なくとも、1か月から1か月半かかってしまう。

現状の中で、そういった形で、他に発注が出たということは、少なからず、1か月から1か月半、完成が遅れるであろうと。場合によっては2か月くらい遅れる可能性があるということです。で、そういう発注が出たということは、村産材が、必ずしも使われているかという所が疑わしくなる訳です。

ですので、どのような形で村産材を利用して、どのような形で村産材を確保して工事に臨んだのかという所が、実は、ちょっと納得いかないところが曖昧である。その事実については、村の方で把握されているのか。

多分、請負業者の方から村の方にそういった説明はないのではないのかというふうに感じますので。

そういった中で、万が一、工期が遅れた場合に、その理由が何であるのか。

もう、この時点で明らかですよ。ですので、ちょっと、その3月末までの完成予定で見ているはずなんです、その工期の遅れの内容について、もう今のところで、原因が明らかになっているという事実もありますので、あえて、この場で、時間を取らせていただきました。

まず、行政側が、その事実をご存じかどうか。ちゃんと村産材について、しっかりと、利用されるのかどうかという所を、今一度、ここで、お伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（伊藤秀明） はい、村長。答弁願います。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） まず、1つ目の掲示板については、これはちょっと把握していないので確認させてください。

それから、村の木材につきましては、設計の段階で、事前に村有林の丸太をストックして、業者に販売をして、それを充てるような対応で事業が進んでおりますので、木材が不足するということは、ちょっと私は考えられないというふうに思っております。

工期の遅れについては、外構について、「繰越どうのこうの」という説明をしましたけれども、本体については「2月末の契約どおり完了する」というふうなことで、工事は進んでいるというふうに聞いておりますので。

いわゆる「工期の遅れ、どうのこうの」については、ちょっと今、お答えするような材料はありません。いわゆる「遅れない」と。「工期内。契約どおり終わる」というふうに思っておりますので、よろしくお伺いしたいと思います。

○議長（伊藤秀明） 以上で、一般質問を終わります。

暫時休憩します。